


整理番号	HT26156	分野	医歯薬学	(キーワード) 生薬
------	---------	----	------	------------

新潟薬科大学

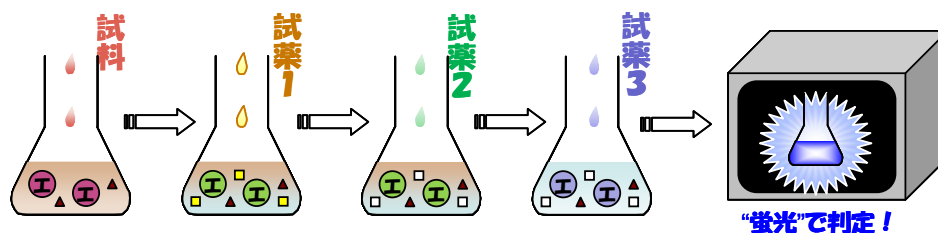
身近にある食べ物からおくすりになるものをみつけよう！

先生(代表者)	大和 進(やまと すすむ) 薬学部・教授	
自己紹介	現在の専門分野は分析化学という領域です。体の中に入った薬がどのくらい血液の中にあるのか、健康を害したときには、体の中の成分がどのように変化しているのか、などを調べる方法を研究しています。趣味は旅行と旅先での“食”です。だから、“食いしん坊”なのです。学生時代には“漢方薬”を研究する部活を通して多くの友達をつくり、今でも交流を続けています。	

開催日時・主な募集対象	平成26年8月23日(土)	(対象)	小学5, 6年生、中学生	(人数)	24名
集合場所・時間	新潟薬科大学正面玄関	(集合時間)	10:00~10:30(受付)		
開催会場(集合場所)	新潟薬科大学 住所: 956-8603 新潟県新潟市秋葉区東島 265 番地 1 アクセスマップ: http://www.nupals.ac.jp/about/access.html				

内 容

かぜ薬である葛根湯(かっこんとう)の成分をそれぞれ調べ、身近にある食品とのつながりを見つけます。また、葛根湯の中で、病院で緊急時にも使われているおくすりの成分をとりだしてみます。さらに、お茶の中に含まれるポリフェノールという成分を取り出し、この成分の病気を治す働きについて学びます。まとめとして、クッキーを食べてクッキーに含まれる成分と葛根湯の成分を比較し、そしてポリフェノール量の違うお茶を飲んでみます。



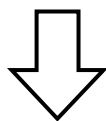
スケジュール	持ち物
<p>8月23日 送迎バス(発車時刻は予定です)</p> <p>村上駅発 8:15 新潟駅南口発 9:20</p> <p>弥彦駅発 8:15 吉田駅発 8:30</p> <p>燕三条駅燕口発 9:00 新津駅西口発 9:45</p> <p>※バスのご利用には事前に予約が必要です。</p>	<p>筆記用具 (参加生徒の皆さんの昼食はこちらで準備します。引率の保護者の方、先生は各自ご用意ください。)</p>
<p>10:00~10:30 受付(新潟薬科大学正面玄関集合)</p> <p>10:30~11:00 開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明)</p> <p>11:00~11:40 講義「食品のなかからくすりをみつける(講師:大和進)」</p> <p>11:40~12:30 昼食休憩(軽食、お茶)</p> <p>12:30~13:20 実験1(葛根湯の分別、エフェドリンの検出)</p> <p>13:30~14:00 実験2(緑茶中のポリフェノールの分析)</p> <p>14:10~14:30 研究室紹介と見学</p> <p>14:40~15:10 実験3 ポリフェノール量の違う緑茶の試飲、シナモンクッキー試食)</p> <p>15:10~15:40 修了式(未来博士号授与、アンケート記入)</p> <p>15:40 終了</p>	<p>特記事項</p> <p>・動きやすい服装でご参加ください。 安全のため、スニーカーでの参加をお勧めします。</p> <p>・送迎バスをご利用の方は、必ず大学に乗車の申し込みをしてください。</p>

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	新潟薬科大学 教育連携推進センター事務局・池田優花
住所：	新潟県新潟市秋葉区東島 265 番地 1
TEL 番号：	0250-25-5386
FAX 番号：	0250-25-5021
E-mail：	edu@nupals.ac.jp
申込締切日：	平成 26 年 8 月 5 日(火) 締切後は大学にお問い合わせください。

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
大和 進	H19-20	基盤研究(C)	19590047	副腎皮質培養細胞系を用いる抗ストレス薬評価を目的としたステロイド類定量法の開発
大和 進	H23-25	基盤研究(C)	23590205	脳エネルギーの代替にケトン体を利用するアルツハイマー病の新規治療戦略



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。